

FD研修会 学生と作る授業

第2回

シラバスで学生と到達目標を共有する

学生の理解度を適切に評価したいけれど、評価方法の書き方が難しい



分かりやすく学生に到達目標を伝えたい



授業外学習が大切なので、学生自ら授業外学習をする気にさせたい



シラバスとは、講義を担当する教員が、その講義科目について、到達目標、概要、成績の評価方法や基準、講義計画等について記載するものです。学生が履修する科目を選択したり、学習計画を立てたりする上でよりどころとなるツールであり、「教員と学生の契約」と位置づけられることもあります。また、今日では「学生の主体的な学び」を促す重要なツールの一つとしてシラバスの活用が求められています。

そのため、本学では、教員向けにシラバスに記載する必須項目や記載方法を示す「シラバス作成の手引き」を発行し、シラバスの記載内容に不足や偏りが生じないようにしています。この度、2025年度版の「シラバス作成の手引き」を発行しました。次年度に向けて、学生が主体的に到達目標に向けて学習することができるようになるシラバスの書き方を一緒に考えませんか。

日時 2024年12月19日(木)
12:45～13:15

講師 出羽 孝行

学修支援・教育開発センター長
文学部教授

参加対象 本学教職員(非常勤講師含)

開催方法
オンライン(Zoom)

開催当日までにメールで
開催URLをお送りします。

お申込みはQRコードから⇒
申込期限：2024/12/18(水)



<https://forms.office.com/r/D3auJCMamf>